

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年12月27日

事業所名 ぼらりすあんど

保護者等数(児童数) 33 回収数 30 割合 91%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	29			1		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	5		4		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者の願いや課題が反映された個別計画が作成されているか	30					
	5	活動内容が固定化しないよう工夫されているか	30					
保護者への説明等	6	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30					
	7	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30					
	8	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	1			いつもアドバイスを頂きありがとうございます	
	9	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23			7		
	10	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30					
	11	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	4		10		
非常時等の対応	12	個人情報に十分注意しているか	29	1				
	13	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	3		7		
満足度	14	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	2	1	7		
	15	子どもは通所を楽しみにしているか	29	1				
	16	事業所の支援に満足しているか	30					

ご自由にお書き下さい(ご意見・ご要望など)

いつも成長や発達に丁寧に寄り添って頂きありがとうございます。子どもも毎週楽しみに通っています。適切なアドバイスを頂き助かっております。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年12月27日

事業所名 ぼらりすあんど

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関に段差はあるが、必要に応じて対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			日々行う連絡会議やカンファレンス等で確認し、職員間で共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けアンケートを実施。結果を保護者へ返し、業務内容の改善に向けて職員間で検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自己評価集計結果は事業所ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	運営については、第三者に意見を求めて業務改善につなげているが、外部評価という形をとっていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修の機会を確保している。外部研修やカンファレンスにも積極的に参加している。出席できない非常勤職員にも内容を伝達したり、個別に研修を行ったりしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			療育における様子や保護者様からの聞き取り、発達検査の結果を反映して計画を立てている。職員会議でそれぞれの専門職からの意見、情報交換を行っている。また、保護者面接の時に子どもの家庭や学校での様子を聞いて、計画に反映するようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			契約時にアセスメントシートを用い、保護者様より情報を得ている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			個別療育では、それぞれの専門職の意見も踏まえながら内容を決めている。グループ療育では、事前の打ち合わせを行い、意見を出し合いながら内容を決めている。グループ活動後には振りかえりも実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用者様の課題に応じて(学校や家庭における課題・将来の自立に向けた課題等)、その都度、設定している。個々に合った内容であるか、固定化していないか等を常に職員会議で話し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日、休日、長期休暇に応じて内容は変えるのではなく、個々の状況に応じた課題を毎回、設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者様の課題に応じて、個別活動と集団活動に対応できるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			課題や目標について共有し、分からないことや疑問がある場合にはその都度、話し合い、共通認識を持つようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			職員間や責任者と指導内容、子どもの様子等を話し合い、共有して次回の療育に繋げるようにしている。適時、職員会議で検討したり、カンファレンスを行ったりしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			担当している子どもについて、職員間で助言を行い合いながら毎回、記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			保護者様から状態や必要な支援について情報を得て、必要に応じて計画の見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			子どもの発達に応じて必要となる基本的な日常生活動作の獲得のための支援、将来の自立に向けた支援、自分を表現する喜びを体験できるような支援、余暇に子どもが楽しめたり自分自身をリラックスさせたりする手段の獲得の支援等を行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			要請がある時には児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			保護者様を通じて情報を得ている。また、保護者様の了解を得て学校との情報共有を行っている。必要に応じて支援会議等に参加している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて、情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	開所2年目のため、障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者様がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			必要に応じて、利用者様の主治医と連携し、情報共有をしたり、助言を受けたりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	事業所内での個別支援を中心としている。グループ活動においては、利用者様同士の交流を基本としている。現在のところはそういった活動はしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			日時を極力合わせて児童発達支援管理責任者や支援員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			定期的に保護者面接を行っている(月1~2回)。その際に学校や家庭の様子、子どもの発達状況や課題を共有している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレント・トレーニングとしての場は設けていないが、定期的な保護者面接の中で、家庭での子どもへの関わり方や環境設定の方法、子どもへの伝え方等を提案したり、その後の振り返りを行う中で別方法の提案等を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			運営規定等については、契約時に説明をしている。支援の内容や利用者負担等については、毎月、知らせている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者から相談がある際には、面談や電話で対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	家族間の関係性もあるため(それぞれの家族によって認識も違うため)、開催、実施は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情等については、契約時に説明し、対応には児童発達支援管理責任者が担うことを周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			必要に応じて、保護者向けのお知らせを掲示したり、公式LINEアカウントで配信したりする等、連絡事項の周知を図っている。
	35	個人情報に十分注意している	○			記録類は施錠できるロッカーに保管している。
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			利用者様と保護者様が、お互いに考えていることを伝え、理解や認識を共有することができるように仲立ちをしたり、調整したりするようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員には研修を行い周知している。保護者には契約時に周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			法人内で職員の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員には研修を行い周知している。保護者には契約時に周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				食べ物の提供は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		その都度、気になることは口頭、会議で共有し、事例集を作成している。